

令和6年度第2回徳山中央病院地域連絡協議会 議事概要

【日時】令和7年2月17日（月）19:00～19:30

【場所】JCHO徳山中央病院本館11階会議室

【次第】

1. 開会挨拶
2. 委員紹介
3. 議題
 - (1) 徳山中央病院の現状報告（資料1）
 - (2) 年末年始の救急外来状況（資料2）
 - (3) 新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・RSウイルス・マイコプラズマ感染症の院内状況について（資料3）
 - (4) 各委員からの要望等について
 - (5) その他
4. 閉会挨拶

【出席者】

越智 裕昭	（山口県周南健康福祉センター所長）
末永 和宏	（周南市役所健康医療部長）
河村 誠	（徳山歯科医師会会長）
岡田 好洋	（徳山薬剤師会会長）
小林 展衣	（周南社会福祉協議会事務局長）
進賀 研次郎	（周南市社会福祉事業団事務局長）
難波 利光	（周南公立大学福祉情報学部長）
沼 文隆	（JCHO徳山中央病院院長）
三井 博	（JCHO徳山中央病院副院長）
原田 有彦	（JCHO徳山中央病院副院長）
萩野 勝司	（JCHO徳山中央病院事務部長）
西村 綾子	（JCHO徳山中央病院看護部長）

【欠席者】

津永 長門	（徳山医師会会長）
中村 悟	（周南市立新南陽市民病院事務局長）
西岡 浩司	（徳山医師会病院事務長）
大山 政男	（周南市自治会連合会会長）

【議事概要】

(1) 徳山中央病院の現状報告（資料1）

- ・令和4・5年度、令和6年4月～12月の実績を資料に沿って報告をした。

(2) 年末年始の救急外来状況（資料2）

- ・12月29日～1月3日の状況について資料をもとに説明を行った。

(3) 新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・RSウイルス・マイコプラズマ感染症の院内状況について（資料3）

- ・新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・RSウイルス・マイコプラズマ感染症の感染者数と入院者数について報告した。

(4) 各委員からの要望等について

<質問>

- ・年末年始の救急外来状況（資料2）について、今年度は9連休であったので資料には載っていない1月4日以降の患者状況について、また来年度も9連休の為、診療体制をどのようにする予定か。

<回答>

祝日は閉院とし、その代わりに救急患者をしっかりと受ける体制としている。資料に関しては、他年度と比較するために1月3日までで区切ってはいるが、1月4日以降も熱発患者等を多数受け入れている。また来年度の年末についても、職員を休ませる必要もあり、今年度と同様の体制をとる予定である。

<その他要望等>

- ・年末年始の院外処方患者が多くお待たせすることはあったが大きなトラブルは無かった。
- ・歯科口腔外科の抜糸症例について、病院とクリニックにおいて対応すべき症例を患者リスク等を加味しながら話し合いを進めている。
- ・山口県感染症情報システムが視覚的にも見やすくリニューアルされているのでご覧いただきたい。
- ・入退院支援部門の円滑化について複数の病院で協議を進めている。
- ・昨年12月に周南公立大学にてがん患者やその家族を支援するイベント「がん晴るフェア」が開催され、徳山中央病院の山下武則医師が講演し大変好評であった。
→緩和ケアは新たに2月から小原医師を採用している。
- ・高齢者施設において感染症対応に力を入れているが、患者が出た場合には宜しく願いたい。
- ・今年、社会福祉士の試験を4年生が8名受験した。今年受験した4年生は徳山大学の学生だが、今の1年生は周南公立大学生として60名在籍している。受験倍率から見ても周南地域において必要性を感じており、地域に貢献できる人材を育てていきたい。

(5) その他

(事務局からの連絡)

委員の『氏名』、『役職』、『議事録』『ご意見に対する対応状況』を徳山中央病院ホームページ等にて公開することが了承された。

次回は次年度7月頃を予定している。

以上